

製作:スタン・ウィンストン (40歳のアカデミー賞に輝く天才クリエイター)

監督:ダリオ・ピアナ (イタリアCM界の巨匠)

——“死”—— それは始まりのサインだった…。

未曾有のエンドレス・デス・サスペンスが観る者の脳内を刺激する!!

マイク・ヴォーゲル

(「テキサス・チェーンソー/クローバーフィールド」/HAKAISHA)

クリスティーナ・コール

(「ロイヤル・セブンティーン」/007 カジノ・ロワイヤル)

ジェイミー・マーレイ

(「華麗なるベテン師たち」/「デクスター 警察官は殺人鬼」)

マイケル・フィースト

(「スリーピー・ホロウ」/「ベネロビ」)

今日も僕は殺される

THE DEATHS OF IAN STONE

提供: ショウゲート ジェネオンエンタテインメント/配給: ショウゲート/2007年/イギリス・アメリカ合作/35mm/ドルビーデジタル/87分



ODYSSEY ENTERTAINMENT AND ISLE OF MAN FILM PRESENT A STAN WINSTON PRODUCTION

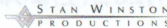
A FILM BY DARIO PIANA MIKE VOGEL JAIME MURRAY "CHRISTINA COLE AND MICHAEL FEAST "THE DEATHS OF IAN STONE" DIRECTOR OF PHOTOGRAPHY STEFANO MORCALDO

MUSIC BY ELIA CMIRAL ASSOCIATE PRODUCERS SARAH ARNOTT RYAN MURPHY CO-PRODUCER DARIO PIANA EXECUTIVE PRODUCERS LOUISE GOODSILL BRENDAN HOOD STEVE CHRISTIAN

PRODUCED BY STAN WINSTON BRIAN GILBERT RALPH KAMP WRITTEN BY BRENDAN HOOD DIRECTED BY DARIO PIANA



© 2007 SWFX LIMITED



今日、僕は殺された。そして、明日も殺される…。

目が覚めるたびに始まる何事もない一日。
しかし、その結末には必ず無残な「死」が待っている。

覚えているのは、殺された時の絶望的な恐怖感だけ

僕は殺されるために生かされているのか？

ループする「死日常」の果てに訪れる闇の真実とは…？

巨匠スタン・ウィンストンが最後に仕掛けた衝撃の

【エンドレス・デス・サスペンス】!

今日も僕は殺される

THE DEATHS OF IAN STONE

イアン・ストーンは、アイスホッケーのスター選手。いつものように試合を終えて家に帰る途中、道の真ん中で倒れている不審な人物に遭遇する。心配して近寄ったイアンに、突然何かが襲いかかる。恐怖と痛みで動けなくなったイアンはそのまま引きずられ、線路の上に投げ出される。叫び声を挙げて、誰にも届かない。列車はスピードを緩めることなく、もはや目を見開くことしか出来なくなったイアンを押し潰していった…。

目が覚めると、そこはガラス張りの洒落たオフィス。イアンは会社員として、デスクワークに忙殺されていた。あの出来事は幻だったのか？ それとも今の姿が夢？ 死の記憶だけが残ったイアンに、再び黒い影が忍び寄る。

イアンはやがて自らの運命を知ることになる。

「今日も、僕は、殺される」…。

「毎日殺される男」という不条理劇から、

闇の正体を暴き出す緊迫のドラマへと鮮やかに進化する、

超新感覚ホラー・サスペンス!

プロデュースを手がけたのは、4度のオスカーを受賞し、VFX界では伝説の巨匠として語り継がれるスタン・ウィンストン。惜しくも08年6月に急逝し、本作が最後のプロデュース作品となってしまった。

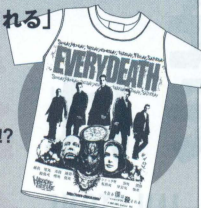
そのスタンが「ものすごいビジュアルセンスの持ち主」と激賞し、監督に大抜擢したのがイタリア出身の新鋭ダリオ・ピアナ。世界各地で述べ350本以上のCF撮影に携わり、カンヌ国際広告祭での受賞歴も多数というAD業界の寵児が、物語の複雑なプロットをまとめあげ、日常に鈍く挿入される恐怖を独自の美的感覚を駆使して撮りあげた。

そして本作のイアン・ストーン役に初主演を飾ったのが、『テキサス・チェーンソー』『クローバーフィールド/HAKAISHA』などで注目を集め、ハリウッド次世代スターの筆頭と言われるマイク・ヴォーゲル。その憂いを帯びた表情と力強い肉体はスリラー系作品と抜群の相性を見せ、今後もエリザ・ドゥシュク共演の『Open Graves』や、ブリタニー・マーフィーとのダブル主演で展開されるスリラー『Across the Hall』などが公開待機中である。

「ハードコアチョコレート×今日も僕は殺される」
コラボレーションTシャツ

下北Tシャツ番長・ハードコアチョコレートが
「毎日殺される」イアンを鮮烈に描く!
月曜、火曜と毎日続く悪夢は果たして終わるのか?
インパクト大の白ボディ、お前も殺される!

3800円 カラー/白(プリント青・黒)サイズXS~XL



監督:ダリオ・ピアナ 製作:スタン・ウィンストン
出演:マイク・ヴォーゲル(『クローバーフィールド/HAKAISHA』)、クリスティーナ・コール『007/カジノ・ロワイヤル』
2007年/イギリス・アメリカ合作/35mm/ドルビーデジタル/87分/映倫 T-44531
提供:ショウゲート ジェネオン エンタテインメント/配給:ショウゲート

公式サイト: <http://www.enterjam.com/kyouboku/> お問い合わせ E-mail: kyouboku@pub-cruise.co.jp

ジャンクハンター吉田 presents

残暑を吹き飛ばせ!

オール・アバウト・ホラーゲーム祭
with 追悼スタン・ウィンストン

物騒な世の中になってしまった昨今……。おかげでホラー映画やホラーゲームは益々隅っこへ追いやられているわけでございます。その現状を打破するためにも和洋問わずに新旧ホラーゲームを大フィーチャーしつつ、9月6日より銀座シネパトスにて公開されるサスペンスホラー「今日も僕は殺される」がプロデュースとして残念ながら遺作になってしまった4度のアカデミー賞に輝くスタン・ウィンストン('80~'90年代に大活躍した天才SFXマン)の追悼を行なうイベント! 貴重なスタンのラストインタビューや、この日だけでしか上映しない秘蔵激レア映像も披露。さらにゲームメーカーからは、7月24日にニンテンドーDSで発売される『トワイライトシンドローム 禁じられた都市伝説』のスパイク、Xbox360版『デッドライジング』のカプコンに協力して頂き、映画製作者やゲーム製作者を招いてカオスなホラー三昧の日曜夜にいたします!

【出演】ジャンクハンター吉田(シネマゲーム研究者)、多田遠志(ロフトプラスワン)、映画版&ゲーム版『トワイライトシンドローム』関係者、Xbox360版『デッドライジング』開発者ほか

【開催日】8月17日、日曜日

【会場】新宿ロフトプラスワン(<http://www.loft-prj.co.jp/PLUSONE/>)

【開場・開始】Open 18:00 / Start 19:00

【終演】22:30予定

【料金】¥1500(飲食別)

※当日ゲストの詳細はエンタジャム(<http://www.enterjam.com/>)にて発表いたします。

9月6日(土)~9月19日(金)、2週間限定“無限死”ロードショー!!
銀座シネパトス及びチケットぴあにて7月26日(土)より特別前売鑑賞券¥1,500 発売!(税込/当日一般¥1,800の処)

15

銀座三越先・歌舞伎座手前
銀座シネパトス
03(3561)4660
www.humax-cinema.co.jp
連日 10:45 | 12:45 | 14:45 | 16:45 | 18:45